



31st

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝4-7-16
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2021-22年度

会長：竹田敏和 幹事：望月 誠
副会長：樽井 勉 副幹事：鈴木寿幸

例会 第1441回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：佐野博己君

■ 会長挨拶

竹田敏和君



あけましておめでとうございます。皆さんはどのように年末年始をお過ごしでしたか。私の家では年末 30 日より 3 男が帰省してきまして 3 日に帰るまで 1 歳になる孫の世話で大変でした。元旦は、町内の小さな神社の広場でご来光を拝みしました。

2 日は箱根駅伝を見ながら家族の新年会

3 日は朝から箱根駅伝にくぎ付け

4 日は静学の敗戦にやけ酒

5 日は妻のお母さんと日本平ホテルでランチ

といった具合でお酒とお雑煮の正月でした。

昨年より心配していたオミクロン株が猛威を振るい始めました。沖縄、山口、広島がまん延防止等重点措置の適用を申請しました。1 月 3 日に 780 人、4 日に 1267 人、5 日に 2636 人、6 日には 4475 人と恐るべきスピードで拡大しています。日本医師会の中川会長は、「全国的に第 6 波に突入したと考えている。特に今回は、新規感染者の増加スピードが極めて高く、想定を超える爆発的な感染拡大が起きれば、必然的に重症患者が増加し、医療機関は対応しきれなくなる恐れがある」と述べています。

静岡県でも 1 月 3 日に 3 人、4 日に 3 人、5 日に 27 人、6 日に 33 人といった具合でまだ少ないものの増加傾向がみられます。本日は理事会があり、来週の藤枝クラブとの賀詞交換夜間例会の開催について協議させていただきました。このタイミングで夜間例会は如何なものかということでいつもの 12 時 30 分よりセレモニーを行い、お弁当を持ち帰っていただくように変更させていただきましたのでお理解をいただきたいと思います。今後の例会につきましてはコロナの感染拡大状況で判断させていただきます。

■ 理事会報告

望月 誠君

- ① 「2 月 3 月のプログラムについて」承認されました。
オミクロン株の感染拡大により、例会プログラムの変更が余儀なくされることをご了承の程お願い致します。
- ② 「藤枝南 RC 杯 U-10 サッカー大会について」承認されました。
開会式、閉会式に出席される方は、奉仕デーに配布したグリーンジャンパーの着用をお願い致します。
- ③ 「ロータリー奉仕デーについて」承認されました。
- ④ 「年忘れ夜間例会決算報告について」承認されました。
- ⑤ 1 月 14 日 (金) の合同新年賀詞交歓会の開催時間・内容においての変更が承認されました。
- ⑥ 12 月 24 日 (金) に臨時理事会が開催され、昨年末において玉木会員の退会が承認されました。

出席報告

村松章典君

| | |
|------------------|--------------|
| 本日のホームクラブ 出席者 | 前回の補正出席者 |
| 43/50 86% | 41/51 80.39% |

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池ヶ谷君 ○江崎君 ○川口君 ○桑原君
○渡邊芳君
佐野裕君 鈴木照君

(1) メイクアップ者

阿井誠君 (藤枝) 伊藤恒夫君 (藤枝)
渡邊博文君 (藤枝)

| 食事準備数 | 食事提供数 | 残 | 累計残 |
|-------|-------|---|-----|
| 47 | 45 | 2 | 18 |

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、前日までにお願いします

スマイルBOX

村松章典君

- あけましておめでとうございます。あと半年
よろしく願い致します。 竹田敏和君
- 明けましておめでとう御座います。SDGsの
実践で年賀状は出しませんでした。出して
頂いた方ありがとうございます御座いました。
高杉光洋君
- 6月の妻の誕生日プレゼント 前取りであり
ありがとうございます。手違いで1つ余分に買って
しまいました。妻ですが大晦日に親指を4
針縫い そこから私は炊事洗濯の毎日です。
がんばります！ 杉浦聡君
- 誕生日祝いありがとう！ 富澤静雄君
- バースデープレゼントありがとうございます
もういくつになるのかわかりません。
淵脇一啓君
- 妻の誕生日プレゼントありがとうございます
漆畑雄一郎君
- 会員誕生日のプレゼントありがとうございます
す。 中山恵喜君
- 結婚記念日思い出しました。あぶなかったで
す。ありがとうございます。 大村和宏君

スマイル累計額

492,000円

会員卓話

鈴木寿幸君



あらためま
して、新年あ
けましてお
めでと
うござ
います。
年があ
らたま
り、2022年、
令和4年1月、
年初の会員

卓話を担当させていただきます。鈴木 寿幸です。
よろしく願いいたします。

クラブ運営、親睦委員長の中山さんから、1月
年初の「卓話」を依頼され、返事は「ハイ！」と
いたしましたが、新年最初の卓話ということで、恐
縮しております。

卓話は、「自己紹介と環境」について話さない
ということなので、自己紹介をさせていただきます。

私は、1958年、昭和33年焼津市の城之腰という、
現在の焼津魚市場から100メートルほど陸に上
がった「浜通り」という船元と水産加工業を生業と
している地で生まれました。私で7代目となります。

先代までは、材木業、船元、蔵元、水産業を生
業としておりましたので、屋号で呼ばれることが、
当たり前でした、「マルスのトシちゃん」、「安三
丸」、「山三」、「大村屋」、「マルハチのトシ坊」等
どれも、私の中学時代までの呼び名でした。
地元の焼津南小学校、焼津中学、静岡の工業高校
を卒業して社会人となりました。

昭和40～50年代の焼津の水産業は、一般船員で
も「一航海で家が建つ」といわれるほどの好景気
でした。 船元、漁師、水産加工業、冷凍業、運
送業、魚屋、飲食店等、30代での起業が当たり前
の時代だったと記憶しています。

縁があつて、都市ガス会社に入社して、30代
での独立を考えておりましたが、1975年代に入
った頃 昭和50年頃から電子計算機、パーソナル
コンピューターが一般企業にも導入され始め、技術
革新による産業構造の大きな変化を実体験しま
した。

当時のガス会社のガス管の設計積算書は、熟練の設計者が3名で計算尺と電卓、そろばんを駆使して、何度も計算を行い、設計変更があれば、徹夜で修正し、翌日係長が、そろばんで間違いがないか、計算しなおしておりました。電卓は、会社に1台真空管式の「電気卓上計算機」が、専務の机の左側に縦40cm、横30cmと今のB4版ほどの大きさで80万円ほどで私の初任給の10倍でした。

昭和50年代の東海ガスの技術畑の責任者は、藤枝南RCの先輩である石川清さんでした。

静岡大学の工学部を卒業してガスの製造技術、地震に強い導管の採用等、都市ガス業界では、全国的にも著名な技術者でした。

その石川さんには、「瞬間湯沸かし器」のあだ名がありました。

社員の不手際を指導する際、「怒るとすぐに真っ赤になり」今では考えられませんが、間違えるのは、「気がたるんでいる」「何で間違える、検算をしたのか」「明日朝までに訂正」が口癖でした。

年度末の3月だったと記憶しておりますが、当時の石川専務から大井川の橋の中で最も下流に位置する木造橋（太平橋）がコンクリート製の新橋になる計画がある。

吉田町の大井川右岸にAGC（当時は、東芝硝子）という体温計をつくるガラス事業会社がある。大井川港の当社LPG受入基地から東芝硝子までの全長2.5Km、にガス配管を新設する。

東芝硝子単独投資額と吉田町へのガス供給を想定し、大井川をわたる、全長1Kmのガス管の太さを算出せよ。設計期間は、14日間というものでした。

当社の設計チームは、6名、設計チームは、徹夜で作業し、設計をすすめていましたが、完成の前日に問題が発生しました。

東芝硝子に、工場の拡張計画案が追加されました。当時は、電卓で手計算が当たり前の時代でした。設計変更に伴い、再計算には、最低3日間は必要との判断でした。

この問題で窮地に立たされたのが、私達、社内でパソコンを趣味にしている数名でした。

石川専務の判断は、趣味でパソコン教室に通っている数名を設計チームに追加し、設計を完成させるが、パソコンで計算した数値なので正確性に欠けるが、期日に間に合わせるとの判断だったようです。

私たちには、(NEC PC800) パーソナルコンピュー

ターが1台支給されました。

現在では、考えられませんが、コンピューターに呪文のような式を入力し、自分たちで計算式を作成し、自動計算、再計算を実施させ、答えを導き出す程度の能力しかないコンピューターでしたが、当時の再計算機能は、間違えない、検算の必要のない、夢の自動計算機でした。

社内からは、若手のコンピューターおたくの設計数値など信用できないとの指摘がありました。東芝硝子側から、短期間での設計変更について、謝意があり、東芝側でも東芝製の大型コンピューターを使用した解析を実施していたことが判明し、ほぼ、数値に差はないことが判明し、大いに評価されました。

パーソナルコンピューターで自営業、独立を目指しましたが、時代の流れについていけず、いまだに独立できず、東海ガスにお世話になっております。

その後は、40歳までは、工事監督、設備設計等の技術者、40歳以降は、営業担当として、ケーブルテレビ事業、インターネットプロバイダー事業、携帯電話、宅配水の新規事業、M&A等を担当させていただき、様々な個性ある経営者の方との出会いが続いております。

次に「環境」についてですが、都市ガス会社に在籍しており、天然ガスを販売しておりますので「欧州における脱炭素とエネルギー環境」についてお話しさせていただきます。

欧州では、再生可能エネルギーが拡大する一方、石炭火力の閉鎖が進み、ガス火力依存度が上昇したことで、エネルギー危機に直面しております。

そんな状況下で巻き起こっているのが、原子力をグリーンな技術と認めるか否かという論争です。

原子力が脱炭素電源であることは、言わずもがなですが、EU内で意見が割れているのは核廃棄物の環境影響の評価です。この点を検証したEUの科学的専門機関は、原子力が太陽光や風力発電に比べて「健康や環境問題について悪影響が大きいことを示す指標はない」と結論付けました。

フランスを筆頭にフィンランドやポーランド、ブルガリアなどの推進派10か国は、10月中旬、ガス価格の高騰を受け、脱炭素には原子力が不可欠だとする声明を発表しました。

「欧州は、14か国で原子炉126基を運転し、世界水準の信頼性と安全性を保障する能力を有し、廃棄物処理についても同様」と強調しました。

対する反対派は、ドイツ、オーストリア、デンマーク、ルクセンブルグ、スペインの5か国、反対派は、原子力災害発生時の危険性やコストを評価していないこと、世界で最終処分場の実績がないとの立場をとっています。

議論の勝利を見越してか、フランスのマクロン大統領は、10月中旬、原子力産業への10億ユーロ（約1300億円）の投資とSMR（小型モジュール炉）直径2.7m、高さ19.8mの開発を進める方針を公表しました。更に11月には数十年ぶりに国内での大型原子炉建設を再開すると発表しました。

福島事故後10年の停滞が原子力産業に与えたイメージは甚大で、国民のコンセンサスを得られていない現状ですが、自分たちの都合でルールを簡単に変更してしまう欧州の対応を日本も分析し、残された時間は、わずかではありますが、経産省、岸田政権には、必要なエネルギー構成の指針を提示し国内エネルギー、電力、ガス、風力、太陽光、水素等の再構築が求められております。

つたない、環境卓話ではありますが、ご清聴いただきありがとうございます。

本年度もよろしくお願いいたします。

刈脇一啓君



私は、焼津市で精神科病院を運営する医療法人と、障害者の支援を行う社会福祉法人を経営しています。平成11年の病棟増築工事から病院経営に携わり、平成15年に社会福祉法人を設立し理事長に就任しました。その後平成26年に医療法人の理事長に就任し今に至っています。

平成10年、12月の暮れも押し迫ったころ、話があるから来るようにと言われ、当時私は京都に住んでいたのですが二十数年ぶりに焼津に帰ってきました。久しぶりに見た実家の病院はかなり老朽化が進んでおり、私に建て替えをするようにという話でした。

すでに全館建て替えの設計図が出来ていたのですが、調べてみるととても建築できるような財務状況ではありませんでした。そこで、設計図を

白紙にして建築計画そのものを収益改善計画とし、現状の病床数を変更することなく収益性の高い病棟を整備することにしました。職員からは「誰こいつ」という扱いでした。それでも診療報酬点数表と施設基準の分厚い本を読み込み、事業計画と資金計画を作成し、県と政府系金融機関から承認を得ることが出来、着工にこぎ着けました。

3病棟のうち1病棟だけ、現状より看護職員が少なくても診療点数が高い種別の病棟を新築し、余剰となった看護職員を配置することで他の2つの病棟もより診療点数の高い病棟にすることができました。さらに、新築の病棟内に作業療法室を設置して精神科作業療法を開始し、既存の小規模デイケアを移設により空いた元病棟に移し大規模デイケアを開設しました。この事業計画により病床規模を変更することなく約50%の増益となりました。

さて、環境と一口に言っても多岐にわたりますが、病院や施設における環境は大きく3つに分類できます。一つ目は、地球温暖化対策の観点から省エネや廃棄物処理等の問題です。二つ目は、医療・福祉従事者の労働環境ですが、こちらは人員配置が施設基準で定められており、医療法や労働基準法に従って対応しています。医療と福祉の現場は慢性的な人手不足なので働き方改革は難しいかもしれません。三つ目は、精神障害者の医療と福祉サービスの提供における地域環境の問題です。

平成13年、病院の建築が終わったところに焼津市から障害者の施設をやってほしいとの依頼がありました。平成15年度に焼津市が整備する福祉ゾーンに精神障害の作業所を作ってくれというものでした。当時、志太榛原保健所（現 中部保健所）管内には精神保健福祉法の法定施設が1か所もありませんでした。しかし、私が必要と感じていたのは在宅の精神障害者の居場所づくりだったので、地域生活支援センターならやります。と、お断りしました。1年後に再び各方面を通して再び依頼され、私の望む種別の施設ではありませんでしたが、国と県の補助金を取り付けることが出来たので社会福祉法人高風会を設立し、精神障害者通所授産施設暁を建設しました。現在は障害者総合支援法のもと、就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援・特定相談支援・一般相談支援のサービス事業を行っています。また、平成20年には焼津心愛会（家族会）から引き継いだ作業所を『漣』という就労継続支援B型事業

所として整備しましたが、建物老朽化のため令和2年に新築して現在は就労支援B型・生活訓練のサービス事業所として運営しています。精神障害者が地域での生活を継続するためには、これらの支援環境を整えることが必要なのです。

さて、精神疾患の中で最も多いのは統合失調症ですが、その発症率は1%、100人に1人、決して珍しい病気ではありません。うつ病や双極性障害、発達障害や適応障害など症状も人それぞれですが、在宅で服薬治療を受けながら就労している方も大勢います。しかし、不調をきたす時もあります。そして、一時的な入院治療が必要になる時もあります。入院治療には良い療養環境が必要です。

令和元年、病院の増改築工事が完成し、療養環境に配慮した完全固執のストレスケアゾーンを備えた病棟など120床を整備しました。多床室はすべて4床とし、心理的にも人との距離を保てるようにしました。

私は、平成31年に『病院の環境問題』と題して卓話をさせていただきました。

その時の内容は、「増改築工事に合わせて平成31年1月から停電対応型ガスコージェネレーション25kWを稼働しました。平常時は発電した電力を館内で消費し、排熱を給湯に利用することで省エネ、CO2削減に寄与しています。停電時には館内の主要な照明、サーバー、コンセントなど重要な負荷に電力を供給し、BCP対策に寄与しています。」というものでした。

コージェネ導入後1年間でのCO2削減量は、導入前のCO2排出量で37t-CO2/年、導入後のCO2排出量で32t-CO2/年のため削減効果は5t-CO2/年、14%となります。これは杉362本分の植林効果に相当します。導入から現在までの累計実績では14.5t-CO2削減していますので、杉1035本分の植林効果に相当します。

今年度中には既存の病棟の照明をLEDに替える予定ですが、CO2削減量は約7.67t-CO2/年杉872本分の植林効果に相当します。

これからも入院患者さんの療養環境を改善し、地域で暮らす精神障害者の為に福祉環境を整え、人と地球環境にやさしい事業を心がけてまいります。

例会プログラム

| 例会日 | クラブ行事 | 摘要 |
|-------------------|----------|-----|
| 1/14(金) 第1442回 | 新年賀詞交歓会 | 小杉苑 |
| 1/21(金) 第1443回 | 会員卓話 | 小杉苑 |
| 1/28(金) 第1444回 | 交流例会 | 小杉苑 |
| 2/4(金) 第1445回 | ガバナー補佐訪問 | 理事会 |

今週の一言

渡邊博文君



私は、最近の一推しはサウナです。今までは、90℃前後の高温のサウナでガマン比べでとても辛いサウナでしたが、75℃前後の低温

では、長い間ジワジワと汗をかき、瞑想しながら楽しむことができます。先日は、一時間ほどチャレンジしました。日頃、たくさん汗をかく機会がない生活ですので、とても、汗をたくさん出すことで、気持ち良い時間を過ごすことができます。ストレス解消にも良いと思います。皆さん是非、低温サウナをお試してください。



委嘱状

第2620地区2022～23年度
公共イメージ向上委員会委員

おめでとうございます！

